

ふじた

回復期リハビリテーション病棟について
脊椎外科のご紹介
大学病院名称変更のご案内
緩和ケアセンターが増床してオープン!!
Information
外来受付・会計等の窓口が新しくなります!!

F U J I T A H E A L T H U N I V E R S I T Y H O S P I T A L



特集

回復期リハビリテーション病棟 OPEN (B棟5F・C棟5F)

2018年1月に60床の回復期リハビリテーション病棟が、同年4月にはC棟5Fに第2リハビリテーションセンターがオープンし、急性期と、生活期リハビリテーション医療の間を切れ間なくつなぐ、新しく先進的な治療環境が整いました。本病棟は、病棟・訓練室が総床面積4,000㎡のワンフロアに集約された構造をもち、病室前の広く明るい廊下での活動プログラム、転倒防止のための懸垂システム、たくさんのリハビリロボットの導入、高密度・高頻度のリハビリを実践するための療法士配置、スムーズな多職種連携のための情報共有システムなど、患者さんの活動性を十分に引き出すためのアイデアが豊富に盛り込まれています。

内覧会と記念講演会を執り行いました

2018年4月27日には、回復期リハビリテーション病棟開棟を記念し、院内連携部門及び、当院と関連の深い病院の方々、先進的な医療機器開発に取り組んでいる企業の方々をお招きし、内覧会と記念講演会を執り行いました。記念講演会ではJohns Hopkins大学からGabriela Cantarero先生とMarlís González-Fernández先生に最先端の研究と今後のリハビリテーション医療の目指す方向性についてご講演いただきました。

これからも関連する診療科のご協力を得ながら大学病院として質の高い先進的な医療を提供し、患者さんに満足いただける治療を実践できるよう、リハビリテーション部門一同努力したいと考えております。

みなさまの益々のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



「脊椎外科」とは…?

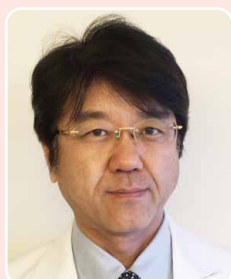
脊椎外科は「せぼね」の診療を担当します。「腰痛」「肩こり」は有訴者率の調査でも最上位にランクされ、国民病と言われています。皆様もこれまでに一度は「痛み」を感じたことがあるのではないのでしょうか。からだの屋台骨である「せぼね」を健康に維持することは自立した生活を維持する上でとても大切です。

2018年4月に整形外科医と脳外科医のスタッフがタッグを組んで「せぼね」の治療（特に手術治療）に特化した診療科が新しく新設されました。当科の特徴は、スタッフ全員が学会認定の指導医であり、低侵襲な内視鏡治療から矯正固定手術まで、脊椎脊髄のあらゆる疾患に対応出来る診療体制となっている点です。



脊椎外科 教授 辻 崇

1995年、慶應義塾大学医学部卒業。日本脊椎脊髄病学会指導医、日本整形外科学会専門医。専門は脊椎外科で、特に頸椎疾患の治療や研究をライフワークとしております。後縦靭帯骨化症に関しては、AMED:日本医療開発機能の分担研究者を務め、難病患者会の世話人等も務めております。



脊椎外科 准教授 井上 辰志

専門領域；①脊椎内視鏡 (MED, PELD, 硬膜外内視鏡)、②脊髄腫瘍、③脊髄動静脈奇形
内視鏡を軸とした低侵襲治療を信条としています。殆どの椎間板ヘルニアと狭窄症で適応可能です。脊髄腫瘍、脊髄血管障害については、ミリ単位の精緻なマイクロサージェリーを行います。神経内科、脳神経外科のカテーテルチーム、放射線診断医と連携し、大学の総力を集めます。脊髄病に対する総合窓口として、お気軽にご相談下さい。



脊椎外科 講師 高橋 洋平

2017年4月より当院に赴任致しました。頸椎から腰椎までの全ての脊椎・脊髄疾患を担当し、当院の全脊椎緊急手術を指導医として担当しています。診断・治療に難渋する症例や手術加療が必要な患者様をご紹介いただけましたら幸いです。保存加療はもちろん、手術加療では早く、安全で低侵襲な手術を提供させていただきます。研究面では側弯症の原因遺伝子 (LBX1) を世界で初めて発見し、側弯症の治療・研究をライフワークとしております。



大学病院名称を
「藤田保健衛生大学病院」から
藤田医科大学病院
へ変更いたします

藤田保健衛生大学病院は、
大学創設50周年の節目を迎えるにあたり、
次の半世紀の医学・医療のイノベーションの
実現を目指し、大学病院の名称を
「藤田医科大学病院」に
変更（平成30年10月10日予定）いたします。
今後ともさらなるご支援を賜りますよう
お願い申し上げます。

緩和ケアセンターが増床してオープン!! 〈全37床〉

3月28日より、C-7病棟に19床
5月 1日より、C-6病棟に18床

緩和ケアセンターがオープンしました。
待機時間も2週間以内に解消されより多くの皆様にご利用頂けることとなりました。

緩和ケアセンターの理念

代謝・栄養学を駆使した精神(こころ)にも身体(からだ)にも優しい緩和ケアを実践します。
“すべては患者さんのために”をスローガンとして最高の緩和ケアを提供すべくスタッフ全員が力を合わせて頑張りますので、よろしくお願いいたします。



専門的な緩和医療

症状緩和
栄養管理
お看取りのケア
家族ケア

自宅に近い環境

全室個室
24時間面会自由
家族の付き添い自由



患者さんが望む生活の支援

退院支援の強化
意思決定支援
コンサルジュ活動

多職種連携

多職種カンファレンス・回診
意思決定支援
放射線治療可能



患者さん同士が関わる時間

お茶会
誕生日会
季節のイベント



心地よいケア

機械浴
アロマセラピー
マッサージ

その人らしさを大切に

お酒OK
ペットの面会OK



家族の継続したケア

グリーフケア
遺族会

患者さん向けがんセミナー

藤田保健衛生大学病院外来棟1階会議室2
(旧 1号棟1階)

7/18(水)

11:00~12:00

頭頸部がんと
摂食・嚥下障害

8/15(水)

11:00~12:00

がんと遺伝子検査
がん相談支援センターの
取り組みについて

詳細については、院内掲示ポスターにてご確認ください

外来受付・会計等の窓口が新しくなります！！

7月17日(火)より、外来受付・会計等の窓口が新しくオープンします。

●移転窓口

番号	移転窓口	場所
30	紹介受付 (紹介状・紹介予約票をお持ちの方)	外来棟1階
31	外来受付 (初めて受診される方、再診の方、保険確認)	外来棟1階
32	外来会計	外来棟1階
33	文書受付	外来棟1階
34	入院受付・会計	外来棟1階
35	入院ねまきレンタル受付 (オムツセット)	外来棟1階
36	医療連携福祉相談部 術前外来(周術期管理センター) 入退院センター/地域連携室 肝疾患相談室/医療福祉・心理相談室	外来棟1階

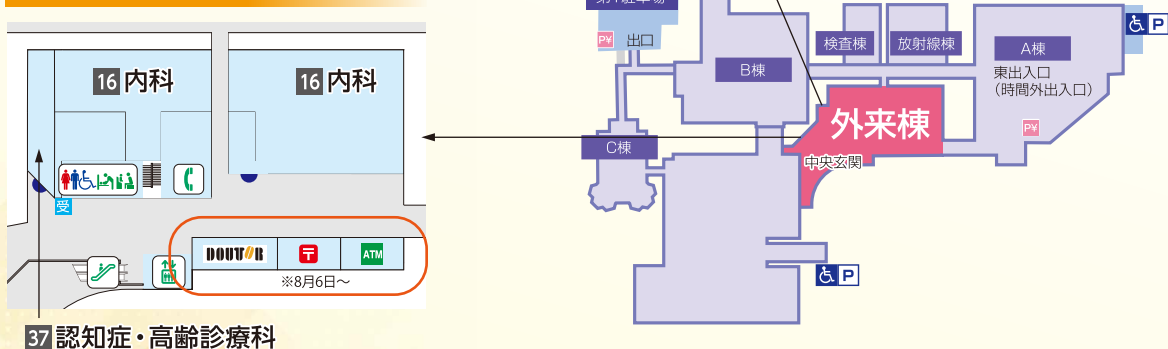
番号	移転窓口	場所
	ATM	外来棟2階
	ドトール	外来棟2階
	術前外来オリエンテーション室	外来棟1階 新設
40	相談窓口 (医療・その他)	A棟1階
41	公衆衛生看護科/看護外来	A棟1階
42	遺伝カウンセリング外来	A棟1階
	郵便局*	外来棟2階

9月上旬～移転予定
*郵便局 8/6から外来棟2階へ。

1F



2F



37 認知症・高齢診療科